

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## プロジェクトの概要

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-11-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00002416">https://doi.org/10.15084/00002416</a>

## プロジェクトの概要

### 1 プロジェクトの目的

「消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究」は、国立国語研究所の基幹型共同研究プロジェクトとして2009年10月にスタートしました。プロジェクトの目的は以下のとおりです。

グローバル化が進む中、世界中の少数言語が消滅の危機に瀕している。2009年2月のユネスコの発表によると、日本語方言の中では、沖縄県のほぼ全域の方言、鹿児島県の奄美方言、東京都の八丈方言が危険な状態にあるとされている。これらの危機方言は、他の方言ではすでに失われてしまった古代日本語の特徴や、他の方言とは異なる言語システムを有している場合が多く、一地域の方言研究だけでなく、歴史言語学、一般言語学の面でも高い価値を持っている。また、これらの方言では、小さな集落ごとに方言が違っている場合が多く、バリエーションがどのように形成されたか、という点でも注目される。

本プロジェクトでは、フィールドワークに実績を持つ全国の研究者を組織して、これら危機方言の調査を行い、その特徴を明らかにすると同時に、言語の多様性形成のプロセスや言語の一般特性の解明にあたる。また、方言を映像や音声で記録・保存し、それらを一般公開することにより、危機方言の記録・保存・普及を行う。

(国立国語研究所ホームページより)

### 2 これまでの調査

プロジェクトでは、2010年から毎年、琉球や八丈を中心として、合同調査を行っています。2010年から2015年までに行った調査は以下のとおりです。

・鹿児島県喜界島方言（奄美語）	2010年9月9日～15日	★ ☆
・沖縄県宮古方言（宮古語）	2011年9月4日～7日	★
・東京都八丈島方言（八丈語）	2012年9月5日～10日	★ ☆
・鹿児島県与論島方言・沖永良部島方言（国頭語）	2012年12月1日～6日	★ ☆
・沖縄県久米島方言（沖縄語）	2013年12月1日～5日	
・島根県出雲方言	2014年8月17日～21日	★
・宮崎県椎葉村（尾手納・日当）方言	2014年9月1日～6日	
・宮崎県椎葉村（日添）方言	2015年3月9日～13日	
・宮崎県椎葉村（小崎）方言	2015年5月8日～11日	
・宮崎県椎葉村（楯尾）方言	2015年9月6日～11日	
・島根県隠岐の島方言	2015年11月8日～11日	

★については、報告書を以下のウェブページで公開しています。

<http://pj.ninjal.ac.jp/endangered/>

また、☆については基礎語彙の発話音声を以下のウェブページで公開しています。あわせてご参照ください。

<http://kikigengo.sakura.ne.jp/>

### 3 共同研究者

プロジェクトの共同研究者は以下のとおりです。(2016年2月1日現在)

研究代表者：木部暢子（国立国語研究所）

共同研究員：五十嵐陽介（一橋大学）、井上文子（国立国語研究所）、上野善道（東京大学名誉教授）、大西拓一郎（国立国語研究所）、小川晋史（熊本県立大学）、荻野千砂子（福岡教育大学）、金田章宏（千葉大学）、狩俣繁久（琉球大学）、久保智之（九州大学）、久保菌愛（愛知県立大学）、窪菌晴夫（国立国語研究所）、熊谷康雄（国立国語研究所）、小西いずみ（広島大学）、小林隆（東北大学大学院）、佐々木冠（札幌学院大学）、重野裕美（広島経済大学）、下地賀代子（沖縄国際大学）、下地理則（九州大学／国立国語研究所客員教員）、田窪行則（京都大学）、竹田晃子（国立国語研究所）、クリス・デイビス（琉球大学）、中島由美（一橋大学）、仲原穰（琉球大学）、西岡敏（沖縄国際大学）、新田哲夫（金沢大学）、日高水穂（関西大学）、ブガエワ・アンナ（国立国語研究所）、トマ・ペラルール（フランス国立科学研究所）、又吉里美（岡山大学）、町博光（安田女子大学）、松浦年男（北星学園大学）、松田美香（別府大学）、松本泰丈（別府大学）、松森晶子（日本女子大学）、三井はるみ（国立国語研究所）、山田真寛（京都大学）、ウエイン・ローレンス（オークランド大学）、ダニエル・ロング（首都大学東京）（五十音順）

プロジェクト研究員：乙武香里（プロジェクトPD）、坂井美日（プロジェクトPD）、盛思超（プロジェクト非常勤研究員）